

あなたも岩手県大船渡市で
漁師にチャレンジしてみませんか？

漁師への道

The Road to FISHERMAN

新規漁業就業ガイド

大船渡市漁業就業者確保育成協議会

漁師になりたい

「海の見えるところに住みたい」、「釣りが好き」、「親が漁師」など、さまざまなきっかけで漁業に興味を持っている方は多いと思います。しかし、いざ「漁師になりたい」と思っても、どのようなプロセスを踏んで行動したらいいのかわからない人も多いはず。このガイドは、大船渡市で漁師を目指す方に漁業就業への理解を深めていただくため作成しました。

Contents

漁師になりたい	2
岩手県大船渡市ってどんなところ?	4
大船渡市の漁業の特色	5
大船渡市の漁師が営んでいる漁業	6
漁師になるためには?	10
各種補助制度について	11
先輩漁師の声	12



おおふなと 岩手県大船渡市ってどんなところ？

大船渡市は、雄大なリアス海岸を代表する景勝地「基石海岸」や三陸沿岸の最高峰「五葉山」などの美しい自然環境と、寒暖の差が比較的少ない温暖な気候に恵まれ、天然の良港とその自然が生み出す豊富な地域資源を生かし、水産、港湾、観光などのまちとして発展してきました。



大船渡市魚市場(左下)と中心市街地



大船渡市プロフィール

- 面積 / 322.50km²
 - 人口 / 32,948人
(令和5年10月末日現在)
 - 世帯数 / 14,807世帯
(令和5年10月末日現在)
- ※大船渡市HPより



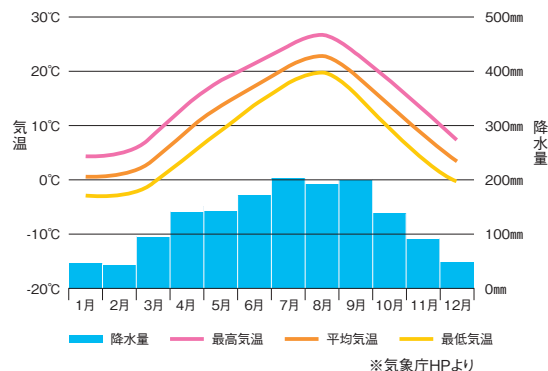
市章

美しい山々と豊かな海に囲まれたまち、大船渡市。市章は、大船渡市の「大」の字を波と山でデザイン化しました。
(昭和27年12月25日告示)

気候

	最高気温(℃)	平均気温(℃)	最低気温(℃)	降水量(mm)
1月	4.5	0.8	-2.7	49.9
2月	5	1.1	-2.6	45.5
3月	8.3	3.8	-0.4	98
4月	14.1	9.2	4.4	142.8
5月	18.5	13.7	9.2	145.2
6月	21.5	17.4	13.9	172.9
7月	24.8	21	18	204.2
8月	26.9	23	20	196.5
9月	23.6	19.5	16	201.8
10月	18.6	14	9.6	140.7
11月	13	8.3	3.8	94.1
12月	7.5	3.6	-0.1	50.4

気候は、海洋性気候の特徴を持ち、平均気温が11℃前後で夏季も涼しく、冬季は比較的温暖で積雪もほとんどみられない。



大船渡市の漁業の特色

岩手県南部に位置する大船渡市の沿岸域は、起伏に富んだリアス海岸で、北から吉浜湾、越喜来湾、綾里湾、大船渡湾、門之浜湾と、5つの湾が連続しており、様々な漁業が営まれています。静穏度に優れた湾内ではホタテガイ、カキ、ホヤなどの養殖のほか、外洋ではワカメ養殖が営まれ、湾内外の岩礁域ではアワビやウニなどの磯根資源に恵まれているため、採介藻漁業が営まれています。

また、大船渡湾内に立地する大船渡市魚市場は、周辺海域はもとより沖合の三陸漁場で操業する漁船の水揚げ基地として機能し、四季折々の水産物が水揚げされます。比較的陸から近い漁場ではサケやサバ、ブリなどを漁獲する定置網漁業が、沖合ではサンマやイサダ、イカなどを漁獲する漁船漁業が営まれています。



大船渡市の漁師が営んでいる漁業

漁師の働き方や生活スタイルは、港から近い場所で日帰り操業する漁業もあれば、魚の群れに合わせて出漁する漁業もあるためさまざまです。

ここでは、大船渡市の漁師が営んでいる漁業の一部を紹介します。

定置網漁業、漁船漁業

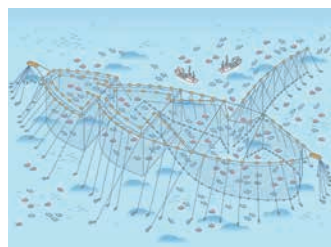
乗組員として雇用されるため、就業に必要な資格は特にありません。

1 定置網漁業

定置網漁業とは、沿岸の魚の通り道に網を設置し、網の中に導かれた魚を漁獲する漁法です。

獲れる魚の種類は季節によって様々で、イワシ、サバ、ブリ、タラ、カツオ、イカ、マグロ、サケなどをはじめ多くの魚が入ります。

1日の流れは、早朝に出港し、漁港から30分程度かけ漁場に到着後、網起こし・選別を行い、市場に水揚げします。その他に網の補修作業や網の入れ替え作業なども行います。

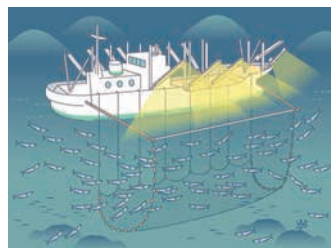


主な就業形態	操業パターン	漁期
乗組員として雇用 <small>※漁業協同組合や漁業法人が経営しています。</small>	日帰り	4～1月

2 サンマ棒受網漁業

サンマ棒受網漁業とは、サンマが光に集まる習性をうまく利用して、片舷から海中に敷設した網にサンマを誘導して、引き上げる漁法です。日没から夜明けにかけて操業します。

大船渡市は本州一の水揚げを誇り、サンマにちなんだイベントも行われ、秋の味覚として親しまれています。



主な就業形態	操業パターン	漁期
乗組員として雇用 <small>※漁業法人や個人漁業者が経営しています。</small>	漁場に合わせ、北海道や東北の漁港に水揚げを行うため、日帰り操業する場合もあれば、長期で出漁する場合があります。	8～11月

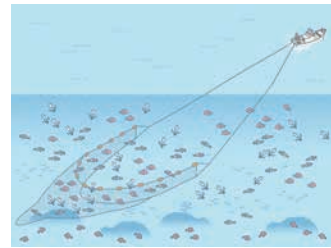


3

イサダ船曳網漁業

イサダ船曳網漁業とは、イサダ（オキアミの一種）の群れに目合いの小さな網を投入し、網に入ったイサダを海水ごと汲み上げ漁獲する漁法です。

岩手県は日本有数のイサダの生産地で、大船渡市は県内最大の水揚量を誇っています。イサダは、これまで主に釣りの撒き餌や養殖魚の餌として使用されていましたが、近年は、イサダに含まれる健康成分も注目されています。



主な就業形態	操業パターン	漁期
乗組員として雇用 <small>※個人漁業者が経営しています。</small>	サンマやイカに比べ、漁場が近くに形成されるため、日帰り操業が多いです。	2～4月

4

イカ釣り漁業

イカ釣り漁業とは、夜間の操業を基本とし、集魚灯に集まってくるイカを海中に投入したイカ針（擬餌針）で漁獲する漁法です。日没から夜明けにかけて操業します。

漁師は、釣り上げたイカをサイズ別に箱詰めし、市場に水揚げします。

イカの種類や季節によって漁場が変わるため、群れに合わせて追って漁獲します。



主な就業形態	操業パターン	漁期
乗組員として雇用 <small>※個人漁業者が経営しています。</small>	漁場に合わせ、全国の漁港に水揚げを行うため、日帰り操業する場合もあれば、長期で出漁する場合があります。	6～12月

大船渡市の漁師が 営んでいる漁業

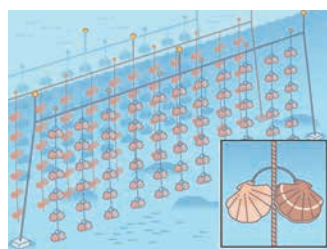


養殖漁業

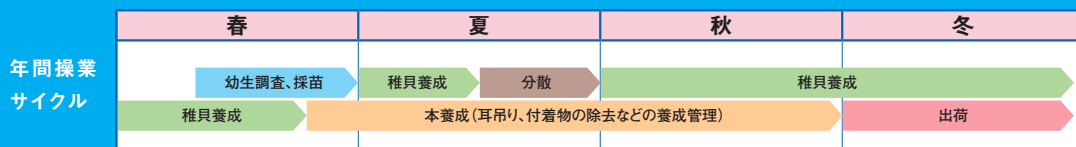
当市では、養殖漁業は主に個人漁業者が経営しています。
 養殖漁業を営むためには、漁協の正組合員資格が必要です。(詳しくはP10を参照)

5 ホタテガイ養殖漁業

ホタテガイは、2～3年かけて育て、年間を通して収穫できます。
 作業の大部分を占めるのは出荷作業です。朝5時の出荷に向けて、午前2時から洗浄や選別などの準備作業を行います。
 出荷作業以外には、ホタテガイを垂下させる耳吊り作業や、ホタテガイに栄養を行き渡らせるため貝殻の付着物の除去作業などを行います。



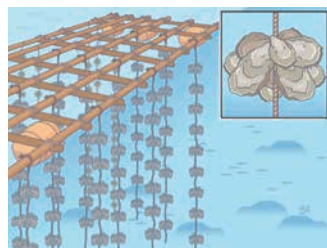
主な就業形態	操業パターン
雇用 (弟子入り)	日帰り



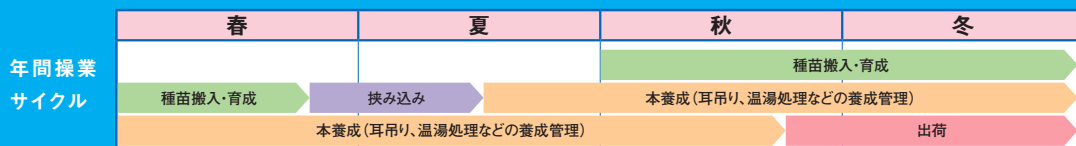
6 カキ養殖漁業

カキは、ホタテガイと同様に、2～3年かけて育て収穫します。
 出荷形態は、むき身と殻付きの2種類があり、10～2月頃まで水揚げ作業により繁忙期が続きます。(※殻付きカキは通年出荷します。)

出荷作業以外には、カキを垂下させる耳吊り作業やカキに栄養を行き渡らせるため、65～70℃のお湯にカキをつけ貝殻の付着物を死滅させる温湯処理(おんとうしゅり)などを行います。



主な就業形態	操業パターン
雇用 (弟子入り)	日帰り



目指す経営の姿

(養殖漁業)

令和4年度における1経営体あたりの平均収入

カキ養殖漁業(殻付き、むき身)	平均収入／809万円(経費率 約50%)
ホタテガイ養殖漁業(生)	平均収入／708万円(経費率 約50～70%)
ワカメ養殖漁業(生、塩蔵)	平均収入／507万円(経費率 約40～70%)

(漁業協同組合から提供された資料をもとに算出)

※収入は養殖規模(生産数量)や出荷形態、販売単価などによって変わります。

※一般的に、上記漁業の他に採介藻漁業、刺網漁業、かご漁業など複数の漁業を営むことが多いです。

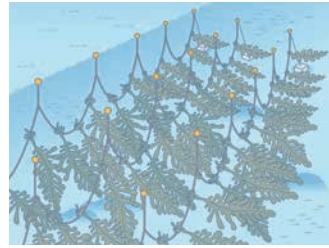
7

ワカメ養殖漁業

ワカメは、1年のサイクルで収穫が行われます。

収穫作業以外には、収穫前の秋からワカメの種糸をロープに巻き付ける作業を行うほか、間引き、出荷用に加工する作業を行います。ワカメの出荷形態は、主に生と塩蔵の2種類があり、塩蔵の場合、塩蔵加工作業やワカメの芯を取り除く芯抜き作業も行います。

岩手県は養殖ワカメの生産量が全国第2位で、大船渡市は特にワカメ養殖が盛んな地域です。



主な就業形態	操業パターン
雇用(弟子入り)	日帰り

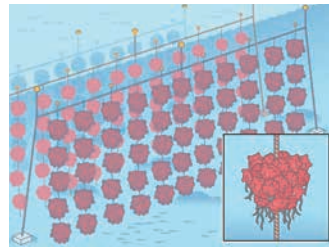
年間操業サイクル	春	夏	秋	冬
	収穫		採苗、海中培養	種糸巻付

8

ホヤ養殖漁業

ホヤは、その姿形から「海のパイナップル」とも称され、大船渡市でも独特の風味が親しまれており、県内1位の生産量を誇ります。養殖期間は、ホタテガイやカキ養殖に比べて長く、3～4年かけて育て収穫します。

収穫作業以外には、付着物の除去作業などを行いますが、管理の手間が比較的少ないです。



主な就業形態	操業パターン
雇用(弟子入り)	日帰り

年間操業サイクル	春	夏	秋	冬
		種ホヤ養成	挟み込み	沖出し・本養成(付着物の除去などの養成管理)
	沖出し・本養成(付着物の除去などの養成管理) ※3～4年目から出荷			

※そのほか、大船渡市では、底びき網漁業、刺網漁業、かご漁業、磯建網漁業、採介藻漁業などが営まれています。

漁法のイラストは実際とは異なる場合があります。

漁師になるためには？

STEP 1



情報を集め、やりたい漁業をイメージする

自分が将来どのような漁業をやりたいのか明確にイメージすることが大切です。自身が漁業に興味を持った理由を切り口に、興味がある漁業について情報を集め、就業について検討しましょう。関係機関への問い合わせや、漁業就業希望者を受け入れる意志のある漁業関係者が出展する「漁業就業支援フェア」が年に数回、都市部で開催されていますので参加をオススメします。また、大船渡市HPの「大船渡市で漁師になりませんか」のページでは、大船渡市で営まれている漁業を紹介していますので、情報収集が可能です。

主な情報収集の方法

- 各漁業協同組合、(公財)岩手県漁業担い手育成基金、大船渡市漁業就業確保育成協議会への問い合わせ(連絡先はP11参照)
- 漁業就業支援フェアへの参加(東京都などで開催)

STEP 2



漁村生活や漁業体験を通じて、意志を固める

話を聞いただけではいろいろと不安があると思いますので、漁村生活や漁業を体験してみることをオススメします。実際に体験することで、就業に対する気持ちを再確認しましょう。

漁業体験の申込み

大船渡市漁業就業確保育成協議会や岩手県へお問い合わせください。(連絡先はP11参照)市内の漁業協同組合などに受入先の有無について、確認を行います。

STEP 3



いわて水産アカデミーや受入先の漁業者のもとで、基本的な知識・技術を学ぶ

初めから自分で漁船を操り、漁をしてみたいという思いを抱いている方は多く見受けられます。ただし、漁師は、公共の海をフィールドとしているため、多くのルールの中で秩序を保ちつつ漁業を営んでいます。最初から一人でまったく漁業ができないということではありませんが、まずは、いわて水産アカデミーや受入先の漁業者のもとで、基本的な知識・技術を学びましょう。漁業を営むためには、その地域に住む必要があります。定住を前提に、その地域に引っ越し、地域に溶け込みましょう。現在、大船渡市では大船渡市空き家バンクにより、住居の空き家に関する情報を提供していますので、こうした情報を活用することをオススメします。

研修機関

いわて水産アカデミー

基本的な知識・技術を身につける集合研修と、受入先の漁業者のもとで漁業に従事する実践研修があります。

- 研修期間:1年間
- 受講料:118,800円
- 問い合わせ先:(公財)岩手県漁業担い手育成基金(連絡先はP11参照)※詳細は「いわて漁業担い手ポータル」で確認できます。

STEP 4



すでに漁業を主として生計を立てている経営体のもとに就業(弟子入り)し、漁師としての仕事をスタート

定置網漁業や漁船漁業の乗組員として「雇用される」場合、必要最低限の準備(合羽や長靴など)をすることで就業が可能ですが、「経営する」ためには、漁業協同組合の「組合員資格」を取得する必要があります。まずは、すでに漁業を主として生計を立てている経営体のもとに就業(弟子入り)し、実績を積むことが一人前の漁師になる近道です。なお、養殖漁業は、大船渡市ではほとんどが家族経営のため、漁業就業希望者を受け入れられる漁師は少ないです。そのため、指導者への補助金などを活用しながら弟子入りする方法もあります。漁業協同組合やいわて水産アカデミー、大船渡市漁業就業確保育成協議会でも受入先の確保に協力します。

キャリアアップをはかる(独立自営の道へ)

STEP 5



将来、自分で船を持ち、自らが経営者として漁業を営みたいと思っている方は、資格を取ってキャリアアップを図りましょう。また、実績を積み、漁業協同組合の組合員資格の取得に向けて、資格の取得要件である年間従事日数を確保しましょう。その後、独立するためには、漁船や漁具の資機材の確保が必要になるほか、所得が安定するまでの生活資金なども必要となります。市や漁業協同組合、国の各種補助制度を活用しましょう。養殖漁業を営みたいと思っている方は、正組合員資格を取得して、漁業協同組合から空き漁場を借りる必要がありますので、漁業協同組合に相談しましょう。

漁協の正組合員になるには

漁業協同組合の正組合員になるには、下記の条件を満たし、資格審査で認められなければなりません。

- 漁業協同組合が所管する地域への居住
- 年間従事日数(概ね90日~120日以上)の確保
- 漁業協同組合への出資金の納付

各種補助制度について

(1) 漁業就業希望者を対象とした補助制度

① 大船渡市意欲ある浜の担い手支援制度（市・漁協補助制度）

大船渡市で新しく漁業を始める人に対して支援する制度です。（15歳以上50歳未満が対象）

●新規就業型

- ・奨励支援：上限50万円（1回払い）
- ・資機材整備支援：上限50万円（1回払い）
- ・生活支援：上限150万円/年
（12万5千円/月 最長2年間）

●後継ぎ就業型

- ・奨励支援：上限50万円（1回払い）
- ・生活支援：上限60万円/年
（5万円/月 最長2年間）

② 漁業担い手宿舎整備等支援制度（市補助制度）

宿舎借上を行ういわて水産アカデミー研修生に対して支援する制度です。

- 宿舎借上事業 補助率：1/2 上限48万円（最長1年間）※ただし、4万円/月以内

③ 次世代人材投資（準備型）制度（国補助制度）

いわて水産アカデミーに入講し、漁業研修を受ける人に対して支援する制度です。

（原則45歳未満が対象） 上限150万円（2回払い 最長1年間）

④ 漁業担い手資格取得助成制度（基金助成制度）

漁業に関する一部の資格を取得する人に対して助成金を交付する制度です。

（いわて水産アカデミー修了生を除く45歳未満が対象） 補助率：1/2 上限10万円

⑤ 沿岸漁業改善資金制度（国補助制度）

漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資する制度です。

(2) 指導者等を対象とした補助制度

① 漁業担い手宿舎整備等支援制度（市補助制度）

市外から漁業に従事する漁業就業希望者を確保するため、宿舎整備及び宿舎借上を行う漁業者に対して支援する制度です。

●宿舎整備事業

- ・新築、増築、新築宿舎の購入 補助率：1/2 上限 2,000万円 ※ただし、被雇用者1人あたり200万円以内
- ・改修、中古宿舎の購入 補助率：1/2 上限 1,000万円 ※ただし、被雇用者1人あたり100万円以内

●宿舎借上事業

補助率：1/2 上限240万円（最長1年間）※ただし、被雇用者1人あたり4万円/月以内

② 経営体育成総合支援制度（国補助制度）

漁業就業希望者を受け入れる指導者に対して指導謝金を支援する制度です。

（指導者が3親等以内でない人が対象）※研修場所や時期によって補助金額が異なります。

- 雇用型 最大14万1千円/月（最長1年間）
- 独立型 最大28万2千円/月（最長3年間）

③ 被災地次世代漁業人材確保支援制度（国補助制度）

漁業就業希望者を受け入れる指導者に対して指導謝金を支援する制度です。（指導者が3親等以内の人が対象）

- 雇用型 9万4千円/月（最長2年間）
- 独立型 9万4千円/月（最長4年間）

補助制度に係る関係連絡先

各種補助制度について詳しく知りたい方はこちら▶



●市・漁協補助制度

大船渡市漁業就業者確保育成協議会（事務局 大船渡市水産課）／TEL:0192-27-3111

大船渡市漁業協同組合／TEL:0192-27-3133 越喜来漁業協同組合／TEL:0192-44-2135

綾里漁業協同組合／TEL:0192-42-2151 吉浜漁業協同組合／TEL:0192-45-2151

●国補助制度 公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金／TEL:019-626-3063

岩手県沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター／TEL:0192-27-9915

越喜来漁業協同組合 所属

お か だ く に あ き

岡田 薫 省 さん

54歳

出身：東京都

漁師歴：3年7か月

漁業種：ホタテガイ、ワカメ、
カキ養殖漁業

目標：ファンづくり、つながりづくりで
地域活性化に貢献したい

備考：いわて水産アカデミー修了生、
国の長期研修支援制度を活用



地域活性化を夢見ながら 第二の人生を謳歌

26年間勤務していた旅行代理店を辞め、奥さんの真由美さんとともに盛岡市から移住し漁師として第二の人生を歩んでいる岡田さん。きっかけは、会社員時代に農家との交流で芽生えた、「食べ物を育てたい」という想いでした。その後、「食べ物を育てるという点では養殖漁業も農業と同じ」と考え、釣りや海産物が好きなこともあって、養殖漁業者を目指して大船渡市に移住。県の「いわて水産アカデミー」に通いながら、ワカメとホタテガイのそれぞれの養殖漁業者に2年間弟子入りしたあと、独立しました。「会社員の場合は会社のルールの中で働かなくてはいけないですが、今は自分たちの考えとペースで仕事ができるので、楽しいしやりがいも大きい。定年がなく妻と一緒に働ける点もいいですね」と岡田さんは満足そうです。

そんな岡田さん夫妻は今、養殖漁業と観光を組み合わせたビジネスを企画中で、市の地域おこし協力隊として漁業体験の企画や受入れに取り組んでいる真由美さんが、その経験を活かしてSNSでの発信や観光客の受入れなどを担う予定です。また、ホタテガイの冷凍品や貝柱製品などを加工・販売する計画もあるとか。

「これらを通じて大船渡の海の豊かさや魚介類のおいしさを伝え、ファンをつくりたい。また、ベテラン漁師さんの知恵を観光客に伝える機会をつくって交流も促したい。その結果として、地域の活性化に貢献できれば嬉しいですね」と岡田さん。そんな計画に思いを巡らせ、二人で夢を語らう時間もまた、今の暮らしの醍醐味なのでしょう。

漁師を目指す人へメッセージ

「新しい漁村活性化のあり方」を目指し、いろいろなことに挑戦できると思います。やった分だけ成果に表れる点も面白いですよ。



大船渡市漁業協同組合 所属

あさぬまゆうじ

41歳

浅沼裕二さん

出身：岡山県

漁師歴：1年7か月

漁業種：定置網漁業

目標：自分で養殖した生産物を皆に届けたい

備考：いわて水産アカデミー修了生、市の漁業担い手宿舎整備等支援制度を活用



漁師を目指し東京から1ターン、 魚介類の美味しさや絶景に感動

漁師を目指す人へメッセージ

漁は、「生き物」相手の真剣勝負。緊張しますが、その分達成感があります。また、海や山など自然が好きな人にはお勧めです。



20年以上東京都で暮らしていた浅沼さんが、漁師を生業にしようと家族とともに大船渡市に移住したのは令和4年4月。以前から義父の実家がある市内吉浜地区を訪ね、「自然が多くて良いところだなあ」と思ったこと、釣りが好きで漁業に興味があったことが理由でした。40歳目前だったこともあり、「転職するなら今しかない」と決断したそうです。

東京都でパチンコ店運営会社に勤務していた浅沼さんは、自営への憧れがあって当初は養殖漁業を希望していました。しかし、移住について相談していた市や県の担当者に「まずは定置網漁船の乗組員になって経験を積んだほうが良い」とアドバイスされたことから、定置網漁業の道へ。夜中の2時に起き、他の乗組員たちと一緒に漁協の船に乗って魚を獲っています。「口先が尖ったカジキやサメなどが揚がり危険も伴うので、作業には集中が必要」と浅沼さん。獲った魚を市場で水揚げ・選別したら漁港の番屋に戻り、皆と一緒に、獲ったばかりの魚介類の一部をおかず朝食を食べるのが日課です。魚を釣るだけでなく食べることも大好きという浅沼さんは、「イカの刺身とかアラ汁とか本当においしくて、最高の朝ご飯なんですよ」と笑顔を見せます。一方、定置網漁が休みになる2～3月は、地元のワカメ養殖漁業者の手伝いをしているそうです。

もともと自然の景色が好きただけに、船上で見る流れ星や星空、日の出の美しさなどには毎回感動するとか。都会では時間とお金をかけないと見られない「絶景」が身近にあるのが魅力、と感じています。

吉浜漁業協同組合 所属

の だ ゆ う し
野田 勇志さん

22歳

出身：大船渡市

漁師歴：3年7か月

漁業種：ホタテガイ、
ワカメ養殖漁業

目標：漁師を増やして地区を
元気にしたい

備考：市の意欲ある
浜の担い手支援制度を活用



漁師の仕事とダイビングを両立、 高校生に漁業の魅力を伝える

市内吉浜地区の養殖漁業者の三男として生まれた野田さんは、父親の跡を継いでホタテガイとワカメの養殖漁業に携わっています。子どもの頃から遊び感覚で兄たちと家業を手伝っているうちに面白さを感じ、跡を継ぐことを前提で水産系学科のある高校に進学。卒業後、家業に入りました。「当初父からは、社会勉強のために最初は他で修業するよう言われました。でも、漁業をやりながらダイバーの資格を取得したいことを伝えると、父は『その学びが社会経験になるだろう』と考え、父のもとで修業することを認めてくれたんです」と野田さん。約2か月後には希望していたレスキューダイバーの資格を取り、現在は指導者の資格取得のためにダイビングショップで修行しています。

ホタテガイ養殖漁業では稚貝の分散や耳吊り、貝殻の付着物の除去、収穫など、ワカメ養殖漁業では種付けや間引き、収穫、ボイル、芯抜きなどと、それぞれさまざまな作業があります。楽しい作業もあれば単純な作業もありますが、「やった分だけ実りがある点に、この仕事のやりがいを感じる」とか。また、漁業の仕事を通じていろいろな人との関わりが増えたことで、それまで人見知りだった自分の変化や成長を実感しているそうです。

そんな野田さんの目標は、年々漁師が減っている吉浜地区で後継者を増やし、もっと元気な漁師町にすること。そのために、母校のダイビング実習で指導する傍ら、高校生たちに漁師の仕事の魅力を伝えています。

漁師を目指す人へメッセージ

養殖漁業者が減っているため、漁業をやるなら今がチャンスだと思います。



綾里漁業協同組合 所属
まつかわ ゆう すけ

29歳

松川雄介さん

出身：大船渡市

漁師歴：2年7か月

漁業種：定置網漁業、ワカメ、
ホヤ養殖漁業

目標：他の乗組員と同等の
仕事ができるようになりたい



明るく仲の良い先輩たちの 動きを真似ながら船で働く

漁師を目指す人へメッセージ

朝が早く体力も必要など、つらいことがあるかもしれませんが、頑張った分だけ稼ぐことができます。



松川さんは、市内綾里地区でワカメとホヤの養殖漁業を営む家の長男として生まれました。いずれ跡を継ぐつもりでしたが、工業高校卒業後は、在学中に取得した資格を活かし、関東地方で電気工事業に就業。その後両親から、「ワカメの生産量を増やしたいので戻って手伝ってほしい」と言われたのがきっかけで、約3年前に帰郷しました。

ワカメ養殖の作業は主に冬なので、4～12月は定置網漁船の乗組員として働いています。船の「親方」も他の乗組員も同じ地区の顔見知りで、親方からは以前から「帰郷したらうちの船に乗らないか」と誘われていたため、迷いなく定置網漁船の乗組員になったといいます。

松川さんが乗る漁船は、午前3時30分頃に綾里漁港を出港し、魚を獲って市場に水揚げしたあと帰港。番屋で朝食後、網の修理作業などを行って午後に解散します。船上では機械で網を巻いたり、水揚げの際にはクレーンの力を借りながら大きな「たも網」を操ったりと、力仕事が少なくありません。それでも「大変だと思ったことはない」と話す背景には、笑いが絶えない明るい雰囲気と、チームワークの良さがあるよう。また、帰港途中の船上で獲れたての魚介類をさばいて食べる点も「この仕事ならではの贅沢ですね」と話していました。

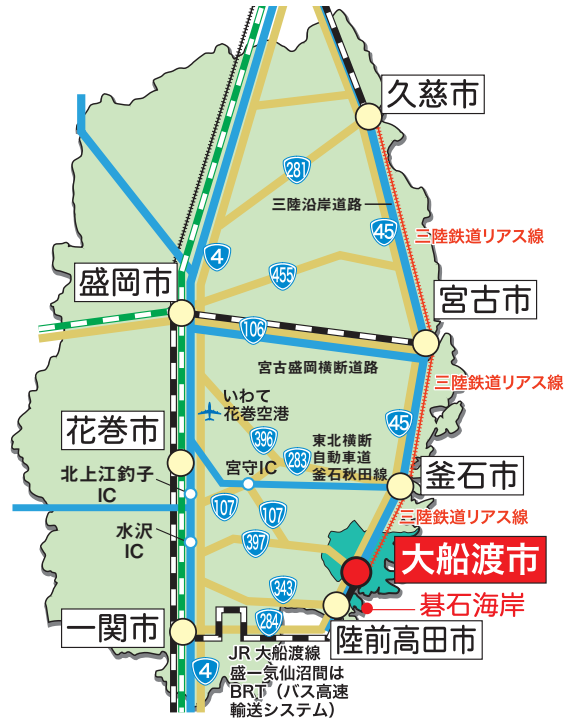
今のところ船で漁師歴がもっとも浅い「新米」なので、「一日も早く、先輩たちと同等に仕事ができるようになりたい」と松川さん。そのために、先輩たちの動きを真似ながら作業することを心がけているそうです。

岩手・三陸発

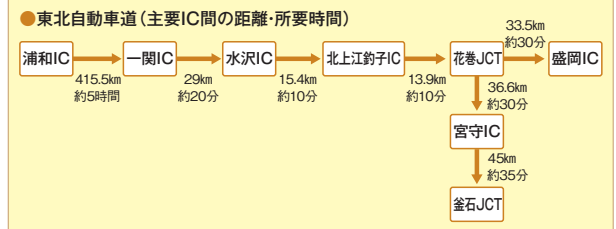


水産のまち 大船渡

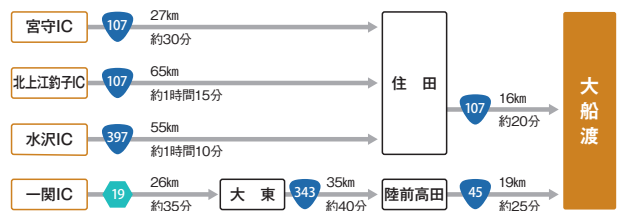
岩手県の水産拠点都市・大船渡。このマークは水産のまち・大船渡のシンボルマークです。三陸のきれいな海が育んだ、新鮮でおいしい海産物を岩手・大船渡からお届けします。



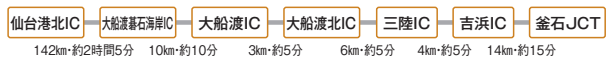
自動車利用(東北自動車道・三陸沿岸道路・国道・県道)



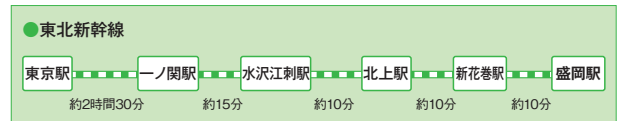
各ICから



三陸沿岸道路



鉄道(新幹線・在来線)&バス路線



●岩手県交通バス・宮城交通バス



●東北本線・大船渡線・BRT



ご質問・お問い合わせはこちら

大船渡市漁業就業者確保育成協議会
(事務局 大船渡市農林水産部水産課)

〒022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15
TEL : 0192-27-3111 FAX : 0192-27-6780
Eメール : ofu_suisan@city.ofunato.iwate.jp

※掲載されている情報は、令和5年10月末日現在のものです。